

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和6年 6月 3日

アンケート期間: 令和6年4月17日～令和6年5月10日

事業所名 S.I.C.KIDS各務原校 保護者等数(児童数) 8 回収数 5 割合 62.5 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	0	0	0		お子様に合わせて配置などを変えて対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1	0	0		今後も専門性を生かして支援してまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1	0	0		必要に応じて設備を整えてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	0		掃除、消毒、換気を徹底してまいります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	0	0	0		ニーズや課題を客観的に分析し支援計画を立ててまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5	0	0	0		今後もお子様の成長を共に感じられるよう支援してまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0		作成された個別支援計画を基にプログラムを立てております。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	0	0	1		今後ともご利用毎にプログラムを立てております。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	1	0	4	・子ども自身が幼稚園に通っている。	保護者様の意見を汲み取りながら検討してまいります。
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5	0	0	0		今後も丁寧な説明を心掛けてまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5	0	0	0		支援開始前に支援内容を説明し同意を得ています。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1	0	1	3		保護者様の意向を汲み取りながら検討してまいります。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	1	0	0		今後も課題に対する取り組みを状況等、フィードバックしてまいります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	1	0	0		ご希望があった際には迅速に対応してまいります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	1	0	0	・必要ない。	保護者様の意向を汲み取りながら検討してまいります。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	4	1	0	0		今後も相談があった際には迅速に対応してまいります。	

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	1	0	0		それぞれの方に合った伝達方法を行ってまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4	1	0	0		公式LINE等のSNSを活用してまいります。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	4	1	0	0		今後も個人情報の保護に留意します。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	4	1	0	0		保護者様の目が届く所に保管します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	0		今後行っていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5	0	0	0		今後も楽しく通所していただけるように精進します。
	23	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	0	とても素晴らしい事業所です。	お子様や保護者様のニーズを汲み取り、満足していただけるよう支援してまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和6年 6月 3日

アンケート期間:令和6年4月17日～令和6年5月10日

事業所名 S.I.C.KIDS 各務原校

保護者等数(児童数) 22 回収数 18 割合 81.9 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	0	0	0		お子様に合わせて教具の配置等を変えて対応しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	14	2	2	0	・専門性は適切。人員にもう少し余裕があると良いと思う。 ・職員の休息のためにもう少し余裕がある人員配置が必要ではないか。	児童指導員、保育士を適切に配置してまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	6	0	4		必要に応じて設備を整えてまいります。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	17	1	0	0		ニーズや課題を客観的に分析し、支援計画を立ててまいります。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	17	0	0	1	・その日の気分に合わせ、無理じいせず可能な活動を探している。	今後も利用毎にプログラムを立ててまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	13		保護者様の意見を汲み取りながら検討してまいります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	0	0	0		今後も続けていきたいと思えます。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	17	0	0	1		今後も課題に対しての取り組み状況等フィードバックしてまいります
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	1	0	0		ご希望があった際には迅速に対応してまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	4	13	・個別の活動であるため難しい。 ・支援が必要ある子にも使いやすい遊び場やおすすめの習い事等アンケート等で保護者に共有してはどうか。	保護者様の意見を汲み取りながら検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	2	0	2		相談があった際には迅速に対応してまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	1	0	0		それぞれの方にあつた伝達方法を行ってまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	5	0	5		公式LINE等のSNSを活用してまいります。
14 個人情報に十分注意しているか	15	1	0	2		今後も個人情報の取扱いに留意いたします	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	2	0	1		保護者様の目が届く所に保管してまいります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	2	0	10		避難訓練を実施します。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	0	0		今後も楽しく通所していただけるよう精進してまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	17	1	0	0		皆様に満足していただけるように支援してまいります。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年5月8日

公表: 令和6年 6月 3 日

事業所名 S.I.C.KIDS各務原校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		十分なスペースは確保しております。	お子様同士がぶつからないように配慮しております。
	2 職員の配置数は適切である	○		適切に配置しております。	児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	靴箱や荷物置き場は本人が自らできるような環境を整えております。	利用者様のニーズや今後の施設運営等によって検討していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所で目標設定して療育の向上を図っております。	日頃の療育を振り返り、改善につながるようミーティングを行っております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		ご意見を共有し、改善案を算定しております。	ご意見に対しては迅速に対応するように努めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	/	/	今回初めての評価になります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っておりません。	第三者評価は行っておりません。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修に参加しております。	定期的に行っていけるように取り組んでまいります。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリング、職員間の情報を基にお子様・保護者様のニーズに応えられるよう作成しております。	今後も常にお子様及びその保護者様の立場に立って効果的な支援を行うよう心掛けております。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		日常チェックリスト・アセスメントシートを活用しております	半年に一度の頻度で行っております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援会議を行って支援プログラムを作成しております。	様々な経験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えてまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラム構成時に過去の内容を確認し作成しております。	お子様の様子を見ながらプログラムを提案しております。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		お子様の発達に合わせた課題を提供しております。	スモールステップで毎回課題を考え、支援を実施しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しております。	集団活動に問題なく行動できるように支援してまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、朝礼で確認を行っております。	共有しやすいように内容を精査しております。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		次の日の朝礼で行っております。	気付いた内容を記録に残しております。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援実施後、支援経過記録を記入しております。	個人ファイルに保存し、支援の向上資料として使用しております。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回モニタリングをしております。	必要に応じて早めにモニタリングを行っております。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		自立支援、日常生活動作の獲得、余暇の提供等を行っております。	成功体験の積み増しを促し自己肯定感を育むようにしております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		召集の都度、可能な限り出席しております。	児発管が出席しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○	現在行っておりません。	現在行っておりません。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	受け入れ実績がございません。	現在、移行されるお子様はいませんが今後対象となるお子様がおられれば、行ってきたいと考えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者様の希望を基に連携を取っております。	保護者様の意向の汲み取りを面談等の機会を利用し行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	受け入れ実績がございません。	現在、移行されるお子様はいませんが今後対象となるお子様がおられれば、行ってきたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	現在行っておりません。	現在行っておりませんが、今後行ってきたいと考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在行っておりません。	本部主催のファミフェスがあるので、声かけをしていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	現在行っておりません。	可能な限り出席したいと考えています。
保護者への説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後、保護者様に支援内容等をお伝えし、自宅の様子をお聞きしております。	伺った内容は職員間で共有しております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	現在行っておりません。	保護者様の意見を汲み取りながら検討します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させて頂いております。	今後も分かりやすさを意識して行ってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があった際に迅速に対応しております。	こちらから積極的に声かけをするようにしております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	現在行っておりません。	交流ができる環境を作れるよう心掛けてまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応しております。	信頼関係の回復につながるよう誠心誠意対応してまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	定期的にInstagramの発信をしていきたいと思っております。	個人情報の保護に留意してまいります。
	35	個人情報に十分注意している	○		書類は鍵付き書庫に保管しております。	書類使用後は速やかに書庫に戻しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		構造化や分かりやすい表現の仕方を心掛けていきます。	個々に合わせた伝達方法を行っていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	現在行っておりません。	保護者の意向も汲み取りながら、検討してまいります。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	今後行っていきます。	今後行っていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	今後行っていきます。	今後行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	今後行っていきます。	今後行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に保護者様に説明させて頂いております。	支援中にケガにつながる場合等、身体拘束が発生した場合には保護者様にご報告しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様へ確認しアセスメントの記入をしております。	必要に応じて医師の指示所を頂くようにしていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		見逃しがないうよう、多様な視点で見るとに致します。	職員間で情報共有を行っていきます。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年5月8日

公表: 令和6年 6月 3日

事業所名 S.I.C.KIDS 各務原校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		個別でのびのびとできるように心掛けております。	複数、児童がいる場合は、同じタイミングで同じ教具を使わないように配慮しております。
	2 職員の配置数は適切である	○		適切に配置しております。	児童指導員、保育士を適切に配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		お子様の特性に合わせて構造化に努めております。	移動範囲は障害物がないようにしております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		掃除、消毒、換気を徹底しております。	療育に集中できるような空間づくりを心掛けております。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		事業所で目標を設定して向上を図っております。	療育を振り返り、改善につながるようミーティングで話し合っております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回初めての評価になります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している		○	今回初めての評価になります。	結果を基に業務の改善に努めてまいります。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価は行っていません。	第三者評価は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修に参加しております。	今後、外部研修にも参加できるよう取り組んでまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリング、職員間の情報を基にお子様、保護者のニーズにも応えられるように作成しております。	今後も常にお子様及び保護者様の立場に立って効果的な支援ができるよう心掛けたいと思っております。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		チェックシート、アセスメントシート等を活用しております。	半年に一回以上の頻度で行っております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		発達支援、個別支援を組み合わせた支援内容を作成し、地域交流をしていくための土台作りをしております。	作成した個別支援計画を基にプログラムを立てております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に基づいて課題設定をしております。	職員間の差が出ないよう支援内容を構成しています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		支援会議を毎日行いプログラムを立てております。	様々な体験を積み重ね、将来必要となる力を養えるようにプログラムを考えております。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラム作成時に過去の内容を確認してプログラムを組んでおります。	お子様の様子を見ながらプログラムを提案しております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		お子様が必要としている力をつける為に支援計画を作成しております。	集団活動へ円滑に取り組めるための支援をしております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日、朝礼の際に確認を行っております。	共有しやすいように内容を精査しております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		次の日の朝礼で情報共有を行っております。	気づいた内容は記録に残しております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援終了後、支援記録を記入し共有しております。	個別ファイルに保存し支援の向上資料として使用しております。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一回モニタリングを行っております。	必要に応じて早めにモニタリングを行うこともあります。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		召集の都度、可能な限り出席しております。	児発管が出席しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	現在は行っておりません。	関わる機会がある際は、連携して取り組んでまいります。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				受け入れ実績がございません。	受け入れ実績がございません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				受け入れ実績がございません。	受け入れ実績がございません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			保護者様の希望を基に連絡を取ってまいります。	保護者様の意向をくみ取りながら検討していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在は行っておりません。	保護者様からのご希望があれば必要に応じて行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			召集の都度、可能な限り出席しております。	支援の向上のためにも積極的に関わってまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在は行っておりません。	本部主催のファミフェスがあるので声かけをしていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在は行っておりません。	必要に応じて参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			支援終了後、支援内容をお伝えし、保護者様からはご自宅での様子をお聞きしています。	伺った内容は職員間で共有しております。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		現在は行っておりません。	保護者様からの意向を汲み取りながら行なってまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時にご説明させていただいております。	今後もわかりやすさを意識して行ってまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			保護者様に支援開始前に支援内容を説明し、同意を得ております。	今後もわかりやすさを意識して行ってまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談があった際には迅速に対応し、職員間で共有しております。	これから積極的に声掛けをするようにしていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在は行っておりません。	保護者様の意向をくみ取りながら検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談があった際には迅速に対応し、職員間で共有しております。	管理者が窓口になっております。施設内部だけで解決が難しい場合は、保護者様の意向をくみながら関係機関との連携をとってまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在は行っておりません。	それぞれの方に合わせた伝達方法を行っていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵付きの書庫に書類は保管し、パソコンもパスワードを設定しております。	書類使用後は速やかに書庫に戻してまいります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			構造化やわかりやすい表現のしかたを心がけております	文字で分かりづらい場合は絵カード等を用いて行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現在は行っておりません。	現在行っておりません。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	今後実施する予定です。	今後実施する予定です。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	今後実施する予定です。	今後実施する予定です。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		個人ファイルにて確認しております。	個人ファイルにて確認し、職員同士で共有していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	/	/
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		職員間の情報共有をしております。	ヒヤリハット会議を実施し、情報共有をしていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	今後行っていきます。	今後行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行った場合、保護者様に必ずお伝えしています。	十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載していきます。この上で三原則を満たさない場合は行いません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。